

＝市民の声募集中＝

市政に思う

今回も4人の方に市民の声をお願いしました。現在市民の声を募集しています。お問い合わせは広報委員会までお願いします。

議会広報特別委員会 ☎42-6310

ふるさとコンサートを終えて

大柿町 小髙 睦子



3月1日、ふれあいセンターにおいて息子、寛二のピアノコンサートを大成功のうちに終えることができました。今までのコンサートは何度も経験しましたが、地元江田島市では演奏会を開いたことがなく、いつか一度地元の方に聴いていただきたいと思っていました。この度、市や教育委員会のはからいで使用料を無料にいただき、また飛渡瀬地区を始め、大勢の方々の協力を得て、会場運営もスムーズで、満席の盛況でした。演奏中の出入りやおしゃべりもなく、皆さん非常に熱心に集中して聴き入ってくださいました。演奏後も「こんなに本格的な演奏会は初めてでした」という声を何人もの方からお聞きしました。

この度の演奏会で、一点だけ気になったことがあります。それはふれあいセンターホールの使用料金です。今回は無料で使わせていただきましたが、近隣の他の施設と比べて高いのではないかと



思い、調べてみたところ、今回と同じ条件（休日、9時から17時、入場無料、空調有り）で借りたとして、料金を座席数で割ると、広島市は1座席あたり約100円、呉市は約50円であるのに対し、ふれあいセンターは1座席あたり22円になります。会場への交通手段の面を考えると、これは高過ぎるのではないのでしょうか。

これでは、市民は気軽にホールを借りたり、演奏会に出かけたりする機会も少なくなってしまう

思いやりの心を大切に

江田島町 江田島小学校PTA会長 鷹谷 直至



何かを成そうと思うと必ず人の力が必要です。そのためには日頃から人とのつながりを大切にしたいものです。そんな事をつくづくと感じるのがPTA活動です。子どもは同世代でも親は同世代とは限りません。しかも統合を重ねている江田島小学校では地域の範囲が広く把握できないことが多いです。しかし協力してくださる保護者や地域の方も多く、いつも頭が下がる思いです。昨年度は市P連の会長

を仰せつかりました。12校の小中学校の代表として県P連の会議や江田島市内の会議にも出席する機会がありました。すると厳しい市の現状に気付かされ、これから先の心配が頭をよぎりました。しかしその不安をかき消すような場面が会議の中でありました。それは市職員の前向きな姿勢です。熱のこもった考え方や説明に心動かされました。10年後も20年後も大切ですが、今の現実を見なければ、先に進む事



はできません。自分が何をすべきか子ども達のために何ができるか考えるきっかけをもらいました。私はまず当たり前の心をもっと見直す事が大切だと思えました。実際当たり前の心からは不平や不満そして不足が出てきます。それに対してありがたいと受け止めた時は感謝感激の心です。これからも人との関わりを大切にして「困った時はお互いさま」「持ちつ持たれつ」「もったいない」「おかげさま」と思

活力ある町づくりのため人口減少に歯止めを！

能美町 中町自治会長 伊勢木 武



平成16年に旧四町が合併し、江田島市が発足して早くも10年が来ようとしている。この10年の流れの中で多くの人が心配しているのは、大幅な地価下落と人口減少、増え続ける耕作放棄地と空家、地元で買物が出来なくなる商店の廃業、小中学校や保育所等の統廃合、高齢化率40パーセントのいびつな年齢構成等々の問題であり、深刻なのはいずれの問題も歯止めがかかっていないことである。

これらの現象は、このまま有効な手を打たず推移すれば、私達の生活基盤である集落が維持できなくなる、いわゆる限界集落の到来を予感させるものであり、私は将来の江田島市に対し大きな不安と危機感を持っている。私の願いはただ一つ。子供達や孫の時代にこの江田島に生まれ育って良かったと思える町を残したいということであるが、このような現状を打開し活力ある江田島市を作り上げる上で重要なことは、

次の3点ではないかと思う。①江田島市の現状は、危機的状況にあることを全市民が共有し、市政全般に対し声を上げる。②行政の待ったなしの最重要課題とし「なんとんでも人口減少に歯止めをかける」との大方針を掲げ、島の生命線である海上交通の問題や、若者が住める町としても産業政策、百万都市広島や呉市から人を呼び込める魅力あるインフラ整備等に、持てる経営資源を集中投

切なる願い。

沖美町 森 紀江

沖美町に住み始めて12年・・・今では小学生と保育園児の2児の母として、近隣の皆さんとも親しくさせていただいています。実家も田舎だけど、ここまでのんびり

静かではない・・・が、近くには歩いてでも行ける、大小の公園がいくつもある。少し遠くても散歩がてら行けるし、車でも数分で行ける。ただ、沖美町にはない。以前は鹿田公園にもあったが、上の子が生まれる頃には無くなって、ただの広場になった。「広場でもボールを持っていけば遊べる」と主人は言うが、せめてすべり台やブランコだけでもあれば十分遊べる。私はいろんな方に「公

園・遊具を作ってほしい」と幾度となく言ってきましたが、返ってくる言葉は「管理費用がかかる」「市側は何かあった時に責任を負いたくない」ばかり・・・。それもわかりませんが、江田島・大柿・能美には、小さいながらも遊具が置いてある公園がある。じゃあなぜ、沖美町にはないのだから？

今、市をあげてサイクリングロードを活性化させている。時々、小さな子ども達も自転車に乗っ

て島を走っている。ただ走っているだけで満足なのだろうか・・・。船を待つ時間に「少しでも遊んで待とうか」とか「この公園目指してサイクリングしようか」と思える所があってもいいのでは？

景色を楽しみ、食を楽しみ、遊んで楽しむ・・・。そんなサイクリングロード、お勧めしなくなる、住んで良かったと思える市・町にしてほしいです。今のままで

